研究プロジェクト応募要領

１．助成対象分野

(1)　 福岡県における、部落問題をはじめとする人権問題の解決に資する分野の研究とする。

２．応募資格・条件

(1) プロジェクトの代表者は、研究所の会員であること。

研究分担者については会員外でもよい。

個人・グループは問わない。

　(2) 研究所としての資質向上、研究・啓発に資するものであること。

　　　助成を請けるに足る研究計画申請であること。

(3) プロジェクトの会計報告書を含む実績報告書を年度末理事会に提出する。

提出期限をその年度の３月１日とする。

(4) プロジェクトの成果は、公益社団法人福岡県人権研究所機関誌『リベラシオン』において発表する。

(5) 申請は１個人･グループにつき１件とする。

３．助成期間

(1) 研究プロジェクト助成期間は1年間とする。ただし、以下の条件で継続研究を認める。

　(2) 同一個人･同一グループ(同一代表者)での継続研究は、３年を期限とする。

　(3) 申請は、毎年度行うこととする。

４．助成件数および助成金額

(1) 助成金額は申請1件につき10万円を上限とする。

(2) 採用数は、原則３件とする。

申請数が２件以下の時も募集要領に沿って選考する。

５．募集期間と選考日程

(1) 募集期間を、12 月1日から1月31日までとする。

(2) 選考委員会において2月28日までに選考する。

(3) 選考委員会は、3月理事会に選考結果を報告し承認を得る。

(4) 選考委員会は、採否の通知を3月31日までに行う。

６．選考基準

(1) 研究テーマと助成対象分野との整合性

(2) 研究所としての資質向上、研究・啓発に資するもの

(3) 研究計画の実現性

(4) 社会的な影響度

(5) 応募者・研究グループの過去の研究実績

７．提出書類

(1) 「公益社団法人福岡県人権研究所　研究プロジェクト助成　応募申請書」により必要事項を記入のうえ応募する。

※　応募申請書のフォーマットは下記からダウンロードする。

<http://www.f-jinken.com/>

(2) 応募申請書は、下記により提出する。

①　紙媒体

②　上記のデータ（MS-Word形式）をCD-R、DVD-R、USBメモリ等に記録したもの

①②の両方を、持参又は書留(レターパック可)にて事務局宛に郵送する。

なお、提出された書類等は返却しない。

８．応募申請書の提出先（問い合わせ先も同様）

〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町13-50 吉塚合同庁舎4F

公益社団法人　福岡県人権研究所　事務局

FAX 　 092-645-0387

Email 　info@f-jinken.com

公益社団法人福岡県人権研究所　研究プロジェクト助成　応募申請書

|  |  |
| --- | --- |
| 研究テーマ（30字以内） |  |
| 　　研究代表者氏　　　　名 | ふりがな・ |
|  |
| 研究代表者連絡先(自宅) | 〒　Tel.　　　　　　　　　　　　　Fax.　E-mail:　　　　　　　　　　　　携帯電話： |
| 研究分担者 | 氏名 | 職業・所属等 |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
| 研究目的（概要） |
|  |

|  |
| --- |
| 研究計画・方法 |
|  |
| 研究業績（研究代表者・研究分担者） |
| 発表年・氏名 | 論文・著書等 |
|  |  |
| 助成希望額／助成金の使用目的・妥当性 |
|  |
|  |

記入上の注意

１．　応募申請書は、10.5ポイントの明朝体で記入ください。ただし、研究テーマについては12ポイントとしてください。

２．　それぞれの記入項目の長さは自由に変えても構いませんが、応募申請書が全体で２ページを超えないようにしてください。

３．研究目的（概要）

　　　研究目的（概要）には、

①１年間でなにをどこまで明らかにするのか、
②研究の独自な点・特色、
③研究の予想される成果、

などに留意しながら、研究の全体的な構想、研究の目的について、わかりやすく記述してください。

４．研究計画・方法

　　　研究計画・方法には、研究の体制・役割分担（グループ研究の場合）、時期を示しながら年間の計画、研究方法について記述してください。

５．研究業績（研究代表者・研究分担者）

　　　研究業績（研究代表者・研究分担者）には、応募する研究プロジェクトにつながる研究業績があれば記述してください。研究代表者のものでも、研究分担者のものでもかまいません。論文・著書等の欄には、たとえば論文の場合、著者名（単著の場合も）、論文名、掲載誌名、巻号、最初と最後の頁を記入してください。

６．助成金の使用目的・妥当性

　　　助成希望額と助成金の使用目的・妥当性の欄には、まず、助成希望額を（10万円を上限として）記述してください。そして、助成希望額の算出根拠などについて、助成金の主な用途をあげながら記述してください。